

# 社会科（公民的分野）学習指導案

日 時 平成29年6月14日（水）

学 級 新篠津村立新篠津中学校3年A組

男子15名、女子12名、計27名

授業者 富久尾 崇

## 1. 単元（題材）名

第1章 現代社会と私たちの生活 1節 現代社会の特色と私たち 1 スーパーマーケットから現代社会を見てみよう

## 2. 単元観

本単元は、中学校社会科学学習指導要領解説公民的分野（1）「私たちと現代社会」の内容をもとに設定した。この単元のねらいは、現代日本の社会は少子高齢化、情報化、グローバル化という特色がみられることを理解させることである。

また、他単元との関連は、地理的分野・歴史的分野で学習してきた「持続可能な社会」を築いていくために必要なことを、公民的分野としてどう捉え、考えていくか、今後の学習の見通しをもたせる上で重要な単元である。

生徒には、現代社会の特色を理解させるとともに、公民的分野における社会的な見方・考え方が、現在進行形の社会状況や将来において社会をどう築いていくかという視点にもとづいていることに気付かせたい。

## 3. 研究とのかかわり

### ①表現力を高めるための工夫について

#### ア KeyWord の活用

課題解決のために重要となる概念や社会的事象を **Keyword** として提示することで、理解が深まり、活用につなげやすくなる。

#### イ 対話的な学習～理解できたら「サイン」をしあう活動～

伝える力・聞く力を高めるため、伝えたことが互いに理解できたかどうかを、お互いに確認しあう活動。

#### ウ 1分まとめの活動

その日の授業で学習したことについて、**KeyWord** を用いながら自分の言葉でノートにまとめる。

#### エ 単元の導入の時間の工夫

単元の1時間目に、今後の学習の見通しをもたせ、課題意識を高めるため、単元を通して記入していくワークシートを用意し、予想→検証→まとめといった流れで単元の学習を進めていく。

### ②教具の活用について（必要に応じて）

#### ICTによる説明時間の短縮

ICT（電子黒板、プレゼンテーションソフト）を活用することで教師による説明時間を短縮し、生徒どうしの交流時間を確保する。

## 4. 単元の目標

現代の日本社会の特色として、少子高齢化、情報化、グローバル化などが見られることを理解させるとともに、これから始める公民的分野の学習に対して関心を高める。			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
現代社会の特色に関する考察を基に、社会の変	現代社会の特色について、社会的な現象を捉え	社会の変化や特色を表す様々な資料を収集し、	現代社会の特色に関する考察を基に、様々な現

化に対する関心を高め、意欲的に追究して その特色をとらえようとしている。	る言葉を活用しながら 多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	有用な情報を適切に選択して、それを基に読み取ったりワークシートなどにまとめたりしている。	象の概念や意味を理解し、その知識を身に付けている。
--------------------------------------	-------------------------------------------	----------------------------------------------	---------------------------

## 5. 単元の指導計画と評価規準

	学習内容	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
1	スーパーマーケットから現代社会を見てみよう		現代社会の特色を踏まえ、スーパーマーケットの変化の予想を立てることができる。	現代日本の社会の特色について資料から読み取っている。	
2	グローバル化		グローバル化について多面的・多角的に考察している。		様々な分野でグローバル化の進展がみられることを理解している。
3	情報化		情報化について多面的・多角的に考察している。	情報化の特色について資料から読み取っている。	
4	少子高齢化		少子高齢化について多面的・多角的に考察している。	少子高齢化の特色について資料から読み取っている。	
5	持続可能な社会に向けて	持続可能な社会の実現について関心を高めることができる。			現代社会の特色についての知識を身につけている。

## 6. 本時の学習

### (1) 本時の目標

- ①現代社会の特色を踏まえ、スーパーマーケットの今後の変化の予想を通して多面的・多角的に考察し、その考えを適切に表現している。
- ②スーパーマーケットの様子を表した資料から、現代社会の三つの特色を理解し、読み取ることができる。

### (2) 本時の評価

- ①B規準 スーパーマーケットの今後の変化について、自分の予想が立てられている。  
 <指導の手立て>  
 教科書の絵や、実際にスーパーやコンビニに行った時のことを思い出させ、キーワードと結びつけるよう促す。
- ②B規準 グローバル化、情報化、少子高齢化に関する評価問題の正答率50%以上。  
 <指導の手立て>  
 グローバル化、情報化、少子高齢化の意味をもう一度確認させる。

(3) 本時の展開

段階	時間	学習活動	教師の指導・支援	学習評価
導入	5分	<p>○プレゼンテーションをみて、これまでの学習を振り返る。</p> <p>○本時の課題を理解する。 1分</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px auto; width: fit-content;">スーパーマーケットから現代社会を見てみよう</div> <p>○課題をノートに書く。</p>	<p>○keynote で作成したプレゼンテーションを見せ、短時間で振り返りを行う。</p> <p>○本時の課題を捉えさせる。発問「現代の社会の特色をとらえるには、何を見たらいいですか？」</p>	<p>研究とのかかわり②</p>
展開	40分	<p>展開①</p> <p>○写真がグローバル化、情報化、少子高齢化のどれと関わりがあるか考え、答えをワークシート①に記入する。</p> <p>○本時の <b>KeyWord</b> (グローバル化、情報化、少子高齢化) について、他の生徒に説明し、理解してもらったらサインをもらう。</p> <p>展開②</p> <p>○教科書の写真以外でスーパーマーケットにおいてどのような特色や変化が見られるか予想し、ワークシート②に記入する。</p> <p>○交流する。</p>	<p>○ワークシート①を配布し、スーパーマーケットの各場面の写真が、社会のどのような変化を示しているか考えさせる。</p> <p>○本時の <b>KeyWord</b> の意味を確認し、互いに例をあげて説明しあうよう指示する。</p> <p>○ワークシート②を配布し、教科書の写真以外で考えられることを予想させる。</p> <p>○ペア→4人で交流するよう指示する。</p> <p><b>ルール</b> 自分の考えを黒で書く・付け加えは赤で書く</p>	<p>研究とのかかわり①ア、イ</p> <p>評価①</p> <p>研究とのかかわり①エ</p>
終末	5分	<p>○評価問題に取り組む。</p> <p>○1分まとめをノートに書く。</p>	<p>○本時の学習内容についての評価問題の配布する。</p> <p>○本時のまとめを記入させる。</p> <p>※新聞の紹介→スーパーだけではない</p>	<p>評価②</p> <p>研究とのかかわり①ウ</p>

7. その他（配付資料や板書計画など）

/ 課題 スーパーマーケットから現代社会の特色を読み取ろう

自分の考え→黒字

付け加え→赤字

Key1 グローバル化

予想

※生徒の言葉で

グ

Key2 情報化

情

※生徒の言葉で

少

Key3 少子高齢化

まとめ

とくに3つの変化がみられる。が、今も変化中

※生徒の言葉で

→授業&実際にみて検証しよう！